

自己免疫疾患の診断治療のため、当院に入院・通院された患者さんの保存試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 リウマチ内科 職名 教授 氏名 竹内 勤
実務責任者 所属 リウマチ内科 職名 専任講師 氏名 鈴木 勝也

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を連絡先までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦 1950 年 4 月 1 日以降、リウマチ内科にて関節リウマチ、悪性関節リウマチ、Felty 症候群、未分類関節症、全身性エリテマトーデス、(全身性/限局皮膚硬化型)強皮症、多発性筋炎/皮膚筋炎、混合性結合組織病、分類不能型結合組織病、肺高血圧症、高安動脈炎、巨細胞性動脈炎(側頭動脈炎)、ANCA 関連血管炎(顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症(旧:ウェゲナー肉芽腫症)、好酸球性肉芽腫性多発血管炎(旧:Churg-Strauss 症候群))、結節性多発動脈炎、クリオグロブリン血症、成人発症 Still 病、シェーグレン症候群、IgG4 関連疾患、再発性多発軟骨炎、血清反応陰性脊椎関節症(強直性脊椎炎、反応性関節炎、乾癬性関節炎、炎症性腸疾患に伴う関節炎、SAPHO 症候群)、ベーチェット病、サルコイドーシス、自己炎症性症候群、RS3PE 症候群、抗リン脂質抗体症候群、変形性関節症、痛風などの診断、治療のため入院もしくは通院し、診療を受けた方。

2 研究課題名

承認番号 20180113

研究課題名 血液腫瘍を主とした糖タンパク質解析

3 研究実施機関

共同研究機関

(代表)慶應義塾大学医学部リウマチ内科
糖鎖利用による革新的創薬技術開発事業
埼玉医科大学総合医療センター 病理部
埼玉医科大学総合医療センター 血液内科

研究責任者

竹内 勤 教授
坂本 亨宇 病理学教授
田丸 淳一 教授
木崎 昌弘 教授研

4 本研究の意義、目的、方法

近年、多くの疾患で、病気に関わる重要な分子のみ標的とした治療(分子標的治療)が行われています。分子標的治療は従来の治療と比較して副作用が少ないことが特徴です。より良い分子標的治療を行うためには、病気の部分と健康な部分を比較して、病気にだけ認められる分子を見つけて、そこを標的とすることが重要です。本研究は、病気の部分にのみ出てくる新たな治療標的となりう

る分子 (特に糖タンパク質) を見つけ、副作用の少ない治療法を開発する事を目標としています。病気の診断等の目的で病変部位の一部を採取する検査 (生検検査) を受けた患者さんから、診断に使わなかった余った組織の一部を提供いただきます。そして、そこに含まれるタンパク質および糖鎖を詳細に解析し、特定の疾患でのみ認められる分子を探します。血液腫瘍の患者さんおよびその他の疾患で免疫に関わる組織生検を受けた患者さん最大 200 人程度を予定しています。

5 協力をお願いする内容

ご協力頂きたいことは、以前に採取させて頂いた組織の本研究への利用許可と、診療情報の研究利用の許可です。

6 本研究の実施期間

西暦 2018 年 10 月 9 日 ~ 2023 年 3 月 31 日 (予定)

7 プライバシーの保護について

ご提供頂いた診療情報や組織は、個人情報が出ないように厳密に匿名化され (乱数を用いた連結可能匿名化) 匿名化番号を付与した研究サンプルとして、本大学内で取り扱われます。専門的な解析のため、サンプルの一部は共同研究期間および外部の委託検査機関へ移送する可能性があります。その際も匿名化番号でのみ管理され、個人情報が分からない状態が保たれます。なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人 (ご本人より本研究に関する委任を受けた方など) より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

本研究に関するご質問、同意されない方は、下記へご連絡下さい。

慶應義塾大学病院リウマチ内科 竹内 勤

連絡先電話番号 03-5863-3786 (対応時間 9:00 - 16:30)

以上